

Kashimura

AK-214

クロック・サーモ・ボルトメーター2

取扱説明書

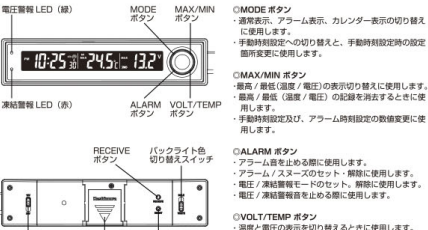
取扱説明書をよくお読みになり、正しく取り付けご使用ください。



同梱品

- 本体
- モニター用電池 (CR2032)
- 金属ステー
- 両面テープ
- 取扱説明書

1. 各部名称

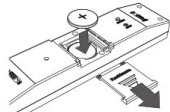


- MODE ボタン
通常表示、アラーム表示、カレンダー表示の切り替えに使用します。
手動時刻設定への切り替えと、手動時刻設定時の設定箇所変更に使用します。
- MAX/MIN ボタン
最高/最低(温度/電圧)の表示切り替えに使用します。最高/最低(温度/電圧)の表示を消去するときに使用します。
手動時刻設定及び、アラーム時刻設定の数値変更に使用します。
- ALARM ボタン
アラーム音を止める際に使用します。
アラーム/スヌーズのセット・解除に使用します。
電圧/凍結警報モードのセット・解除に使用します。
電圧/凍結警報音を止める際に使用します。
- VOLT/TEMP ボタン
温度と電圧の表示を切り替えるときに使用します。
- バックライト色切り替えスイッチ
バックライトの色の切り替えの際に使用します。
- 12V/24V 電圧設定切り替えスイッチ
車載の電圧に合わせて12V/24Vを切り替える際に使用します。
- RECEIVE ボタン
電波の受信状況を確認する時、及び電波を強制受信する時に使用します。

2. 液晶表示



3. 電池の入れ方、交換方法



1. 本体裏面の電池蓋を押しながら矢印の方向へスライドして取り外します。
2. ボタン電池 (CR2032) を図の向きに + を上にしてセットしてください。
※本製品を初めて使用される際は電池ケース内の乾燥シートを取り外してください。
3. 電池蓋をスライドさせて元の位置に戻してください。
※電池が厚みがないように押し込まずに蓋めてください。

4. 電池を入れた後の動作

- 電圧計
 1. 電池を入れたら2020年1月1日午前12時表示、時計が動きます。
 2. 電池を入れたら約5秒後に電圧受信を開始します。
※60Hzから受信を始め、約5分後に40kHzの受信に切り替わります。
※受信が行われる間は、時計は動いてください。受信が完了するまで約5~12分がかかります。
※毎夜 AM2:00 に自動受信を行います。AM2:00 に電圧を受信できなかった場合は最大4回まで (3:00, 4:00, 8:00, 14:00, 20:00 に) 再自動受信します。
※電圧を受信できない場合は、電波の強い場所へ移動し再接続の方法で強制受信を行うか、手動で時刻を設定してください。
 3. 電圧を受信すると現在時刻と表示が変わり、電圧受信インジケータが表示されます。
- 温度計
 1. 測定された温度が表示されます。
※測定対象中は温度の測定は行われません。電圧受信後に測定を開始し、表示が更新されます。
- 電圧計
 1. 測定された電圧が表示されます。
※ON/OFFと温度計の動作のみ表示されます。
※ご使用の車の電圧に合わせて本体背面の12V/24V電圧設定切り替えスイッチで設定してください。
※電圧受信中は電圧の測定は行われません。電圧受信後に測定を開始し、表示が更新されます。

5. 取り付け方法

- 本体
 1. 電源ケーブルの取り回しを考慮しながら、取り付ける場所を決定します。
※電線の妨げになると思われる場所、安全装置 (エアバック等) の作動機構の妨げになる場所には取り付けしないでください。
 2. 取り付ける場所の汚れをよく拭き取り、中性洗剤等で脱脂してください。
 3. 付属の金属ステーを取り付け場所に合わせ、本体裏面の下と下ごしらえにします。[図1]
 4. 両面テープの剥離紙をはがし、取付ける場所に合わせ金属ステーに取り付けてください。[図2]
 5. 金属ステーを両面テープが見えし内面に折り曲げ、両面テープ裏面の剥離紙をはがし取付け場所にしっかりと貼り付けてください。
※金属ステーは厚さも曲げられたりばりしりすやと金属部分がよけられる場合があります。
※両面テープは貼り付け後、約24時間経過後に粘着が安定します。取り付け後すぐに力をかけないでください。
※両面テープの粘着剤は温度変化による粘着強度の低下を避けるために取り付けてください。
※ダッシュボードの裏面に柔らかい材質 (ポリウレタン製や本革製等) の車種では、両面テープを剥がすと、破損したり両面テープの粘着剤が残りやすくなります。ご注意ください。
 6. 電源ケーブル、セレクトスイッチは両面テープを取り付けてください。
 7. 車載のOCCケーブルは、本製品の電源プラグを挿入してください。
- 外気温度センサー
 1. 外気温度センサーはエンジンの前や、直前日光・風によるセンサーへの影響が少なく、水濡れしない外気を取り込める場所を外気温度センサーの両面テープの剥離紙をはがし貼り付けてください。
※水濡れは避け、直射日光は避け、直射日光の当たる場所 (サイドステップ側面) の後ろなどに貼り付けてください。[図3]

6. 時計・カレンダー機能とボタン操作の説明

- 標準電波の強制受信
 1. 本体裏面のRECEIVE ボタンを長押しすると電波の受信が開始されます。
 2. ボタンを押すことで40kHz/60kHzの表記が変わります。
 3. 受信が完了すると電圧受信インジケータが表示されます。
 4. 電圧受信が完了するまでは電圧/RECEIVE ボタンを長押しします。
- 手動時刻設定の方法 (マニュアル時刻セット)
 1. 通常表示の時に「[時]」の表示が点滅するまでMODE ボタンを押ししてください。
 2. MAX/MIN ボタンを押すと所要の時間に「[時]」を調整します。
※表示が点滅していても、VOLT/TEMP ボタンを押すと時刻が戻ります。
 3. MODE ボタンを押すと点滅の表示が「[時]」-「[分]」-「[12/24hの切り替え]」-「[月]」-「[日]」の順序で切り替わりますので、それぞれMAX/MIN (VOLT/TEMP) ボタンを押して所要の時間、日に設定してください。
曜日/カレンダーを設定すると自動的に切り替わります。
 4. 「[日]」の表示にMODE ボタンを押すと通常表示に戻ります。
- アラーム時刻の設定
 1. MODE ボタンを押すと通常表示→アラーム表記→カレンダー表示に切り替わります。
 2. アラーム時刻設定の際にMODE ボタンをアラーム時刻の「[時]」を調整するまで長押しします。
 3. MAX/MIN ボタンを押すと所要の時間に「[時]」を調整します。
※長押しすることで早送りできます。※VOLT/TEMP ボタンを押すと時刻が戻ります。
 4. MODE ボタンを押すと「[分]」の表示が点滅に切り替わります。
 5. MAX/MIN (VOLT/TEMP) ボタンを押して所要の時間に「[分]」を調整します。
 6. 設定が完了したらMODE ボタンを押してください。通常表示に戻ります。
- アラームの設定
 1. 通常表示またはアラーム表示の際にALARM ボタンを押すと、▲マーク、Zマークが点滅します。
▲マークの時は通常のアラーム、▲マークとZマークが両方点滅している時はスヌーズアラームです。15分間のスヌーズも機能しアラームは鳴り止みます。
通常のアラームの時は、ALARM ボタンを押すとアラームが止まります。
 2. スヌーズアラームの時は、ALARM ボタンを押した後に、押し続けたタイミングの5分後に再度アラームが鳴り、合計3回にわたって鳴ります。
 3. スヌーズアラームは、約1分間鳴り続きます。

7. カレンダー表示の切り替え

- 1. 時刻表示の状態でMODE ボタンを長押しすると、カレンダー表示に切り替わります。



8. 温度表示について

- 1. 測定温度が表示範囲外の場合、[LO] または [HI] が表示されますが異常ではありません。
2. 本体の温度が極端に高温や低温になると、液晶が黒く変色する場合がありますが、高温に置かれれば回復します。



9. 最高・最低 温度 / 電圧表示

- 1. MAX/MIN ボタンを1回押すと、MAX マークが点滅し、温度・電圧の最高記録数値が表示されます。
約60秒後に自動的に現在の温度・電圧の表示に戻ります。
約60秒後に自動的に現在の温度・電圧の表示に戻ります。
- 2. MAX/MIN ボタンを2回押すと、MIN マークが点滅し、温度・電圧の最低記録数値が表示されます。
- 3. 最高・最低 温度 / 電圧の記録を消去する場合は通常表示の状態で、最高・最低 温度 / 電圧表示時にMAX/MIN ボタンを長押ししてください。ビープという音と共に記録が消去され、約60秒後に現在の温度 / 電圧表示に戻ります。
※一度消した記録を元に戻すことはできません。



10. 温度表示・電圧表示の切り替え



11. 凍結警報モードの設定

- 凍結警報モードの設定
 1. 「[外気温度・電圧]」または「[内気温度・外気温度]」が表示されている時にALARM ボタンを長押しすると、外気温度表示画面にALERT マークが表示され、凍結警報モードにセットされます。
 2. 外気温度が+4.9℃~1.9℃の時に、凍結警報 [ICE] のLEDが点滅し、警報音が約1分間鳴り続きます。
警報音が鳴り止んだ後も凍結警報 [ICE] のLEDは点滅し続けます。外気温度が+4.9℃~1.9℃の状態が続いた場合、約30分後に再度凍結警報が鳴り、正常になるまでこれを繰り返します。
※警報音の作動と実際の道路状況が一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 凍結警報音の停止
 1. 警報音が鳴っている時にALARM ボタンを押すと警報音が鳴り止みます。
※ICE マークは+4.9℃~1.9℃の間は点滅し続けます。
- 凍結警報音の解除
 1. 「[外気温度・電圧]」または「[内気温度・外気温度]」が表示されている時にALARM ボタンを長押しすると、外気温度表示画面からALERT マークが消え、凍結警報モードが解除されます。



12. 電圧計の表示・警報

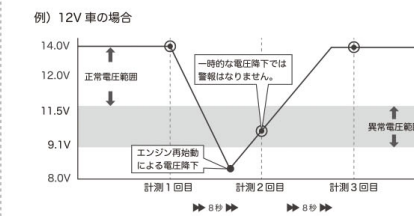
- 電圧計の表示
 1. 「10. 温度表示・電圧表示の切り替え」を参考に電圧計表示の切り替えを行ってください。
 2. 表示部に電圧とバッテリーの状態を示すアイコンが表示されます。(通常時のみ)
※必ず、ご使用の車両の電圧に合わせて本体背面の12V/24V電圧設定切り替えスイッチで設定してください。電圧が正しく表示されなくなります。
- 電圧警報の設定
 1. 「内気温度・電圧」が表示されている時にALARM ボタンを長押しすると、電圧表示画面にALERT マークが表示され、電圧警報モードにセットされます。
- 電圧警報音
 1. 電圧が8.0V (16.0V) 以下の場合、電圧表示が「-V」になります。電圧が9.1~11.5V (18.1~23.5V) 以下を3分間経過後に測定した場合に電圧警報 [VOLT] のLEDが点滅し、警報音が約1分間鳴り続きます。
警報音が鳴り止んだ後も電圧警報 [VOLT] のLEDは点滅し続けます。また、電圧が9.1~11.5V (18.1~23.5V) の状態が続いた場合、約30分後に再度警報音が鳴り、正常になるまでこれを繰り返します。
※ () 内は24V設定の場合の数値です。
※電圧表示を消さない場合でも警報音が行われます。
※充電制御中は、停車時に電圧計の使用状況によっては警報音が鳴る場合があります。
- 電圧警報音の停止
 1. 警報音が鳴っている時にALARM ボタンを押すと警報音が鳴り止みます。
※電圧警報 [VOLT] のLEDは正常になるまで点滅し続けます。
- 電圧警報音の解除
 1. 「内気温度・電圧」が表示されている時にALARM ボタンを長押しすると、電圧表示画面からALERT マークが消え、電圧警報モードが解除されます。

電圧表示	バッテリーの状態	インジケータ	電圧警報 [VOLT] LED	アラーム	
-V (8.0V 以下)	完全放電	充電不可	無表示	消灯	無し
9.1~11.5V	弱	充電不可	点滅	点滅	鳴る
11.6~11.9V	弱	充電不可	消灯	消灯	無し
12.0~12.4V	普通	弱充電	消灯	消灯	無し
12.5~12.9V	良好	弱充電	消灯	消灯	無し
13.0~15.9V	優良	通常充電	消灯	点滅	鳴る

電圧表示	バッテリーの状態	インジケータ	電圧警報 [VOLT] LED	アラーム	
-V (16.0V 以下)	完全放電	充電不可	無表示	消灯	無し
18.1~23.5V	弱	充電不可	点滅	点滅	鳴る
23.6~23.9V	弱	充電不可	消灯	消灯	無し
24.0~24.8V	普通	弱充電	消灯	消灯	無し
24.9~25.9V	良好	弱充電	消灯	消灯	無し
26.0~31.9V	優良	通常充電	消灯	点滅	鳴る

13. アイドリングストップ車対応機能について

- 1. アイドリングストップ車は開始時などで一時的に電圧が下がります。その間にバッテリー上りや誤検知し警報を鳴らさないようするため、本製品では8日間連続計測中に異常な圧下3回連続で検知した時に警報を行います。



※お問い合わせ先
03-5613-1332
(平日のみ 10:00~12:00/13:00~17:00)

